



活性汚泥沈降促進剤

セピア® B-100

活性汚泥法によるBOD除去装置は、負荷の変動やその他運転条件の変動などにより微生物相が変化し、いわゆるバルキング現象を引き起こすことがしばしばみられます。

この曝気槽内、あるいは沈殿槽内の浮遊した汚泥を一時的に沈降させようとする緊急対策が求められることがあります。このような場合に強力な効果を発揮するのが「活性汚泥沈降促進剤 セピアB-100」です。

1. 特 長

- (1) 短時間で効果を発揮しますので緊急対策にも適しています。
- (2) 放流水へのSS移行を防止し、放流水質の安定がはかれます。
- (3) 活性汚泥微生物に対する悪影響はありません。
- (4) 酸性域から弱アルカリ域までの幅広い水質で使用できます。
- (5) 液状品ですから取扱いが簡単で作業性にすぐれています。

2. 使用方法

- (1) 溶解濃度
工水などで1～5%（又は適当な濃度）に溶解します。
- (2) 注入量
曝気槽から沈殿槽へ流入する汚泥量に対して5～50mg/l程度注入します。
- (3) 注入場所
曝気槽から沈殿槽への水系に間欠又は連続的に注入するか、沈殿槽に直接散布します。

3. 使用実施例

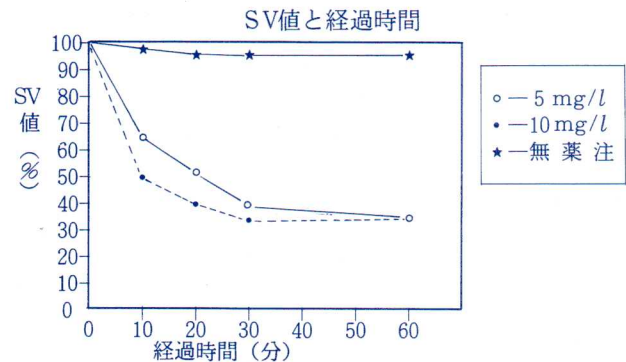
- (1) 汚泥濃度 4,000 mg/l
- (2) セピア添加量 0, 5, 10 mg/l
- (3) 沈殿槽入口への連続注入

〔結果〕

SV値及びSVI値

セピア B-100 の添加量 (mg/l)	結					果	
	フロック 径(mm)	SV ₁₀ (%)	SV ₂₀ (%)	SV ₃₀ (%)	SV ₆₀ (%)	SV ₆₀ 時の 上澄水外観	SVI 値
5	1	65	50	40	35	良好	100
10	1～2	50	40	35	35	良好	88
無薬注	<1	99	95	95	95	微量SS有り	238

経過時間とSV値の変化



上記より活性汚泥の沈降速度は、無薬注時に比べセピアを添加した際、大幅に改善されています。また、一般的にSVI値は100以下が良好といわれています。

4. 物 性

外 観	淡黄～淡紅色粘稠液
イオン性	強カチオン
pH (10%溶液)	2～4
原液粘度 (25℃)	3000～7000 c.p.s
5%溶液粘度 (25℃)	16 c.p.s
比 重	1.15±0.05

5. 荷 姿

20kg入り ロイヤル缶（内面コーティング）

6. 取扱上の注意

開封せずに室温で保存すると、長時間（1年間）保存できます。

皮膚に付着しても特に問題ありません。水洗いすることで簡単に洗い落とすことができます。



オルガノ株式会社

東京支社 TEL (03) 432-8111
東京都港区芝公園3-1-38(秀和芝公園3丁目ビル) 〒105
大阪支社 TEL (06) 341-2671
大阪市北区堂島1-5-17(堂島グランドビル) 〒530
札幌営業所 TEL (011) 643-0901
札幌市中央区大通西21-46(山口ビル) 〒064
仙台営業所 TEL (022) 261-6801
仙台市一番町4-1-1(仙台セントラルビル) 〒980
名古屋営業所 TEL (052) 583-1861
名古屋市中村区名駅4-5-20(第2堀内ビル) 〒450

広島営業所 TEL (082) 228-9977
広島市中区基町12-3(朝日生命広島ビル) 〒730
福岡営業所 TEL (092) 714-1700
福岡市中央区渡辺通1-1-1(電気ビルサンセルコ別館) 〒810
本社別館 TEL (03) 815-7111
東京都文京区本郷1-28-23 〒113
本 社 TEL (03) 812-5151 51
東京都文京区本郷5-5-16 〒113
総合研究所/戸田工場/柏工場/幸手工場